

松本市乗鞍観光センター再整備基本構想・基本計画 ≪概要版≫

乗鞍観光センターは、施設の老朽化により再整備が必要となっています。一方で、施設の所在する乗鞍高原は、地域ビジョンとして「のりくら高原ミライズ」を策定し、ゼロカーボンパーク国内第1号に登録され、脱炭素先行地域にも採択されています。この先行ビジョンを基に、乗鞍観光センターの在り方を以下のとおり提案します。

コンセプト 乗鞍高原の自然・魅力・活動と人をつなぐゲートウェイ

目指すべき方向性：乗鞍高原の持続的な環境、暮らし、観光の循環づくりを楽しみながら実践、発信、共有する拠点としてのゲートウェイを創造し地域の活性化を図ります。

のりくら高原ミライズ

現状・課題

- 環境の危機
地球環境問題の影響や社会の変化等により、豊かな自然環境が失われる
- 暮らしの危機
少子高齢化、人口減少等により安心安全な暮らしが失われる
- 観光の危機
豊かな自然観光資源を活かしきれず、山岳観光地として維持できなくなる

取組み

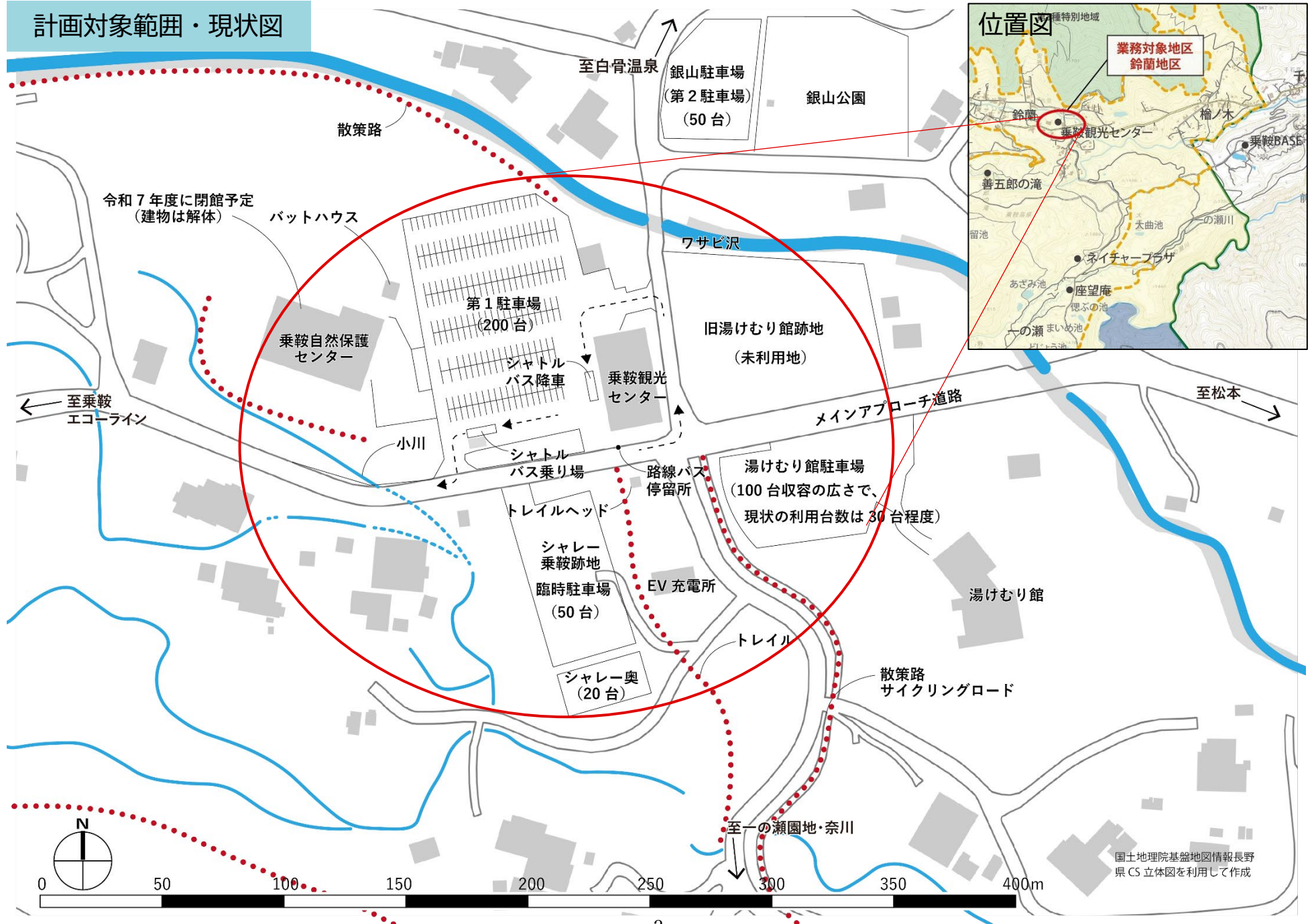
- 1 乗鞍高原からはじまる地球環境問題解決
- 2 人と自然がつながる賑わいのある地域づくり
- 3 移動の障壁を取り払う環境配慮型の二次交通システム構築
- 4 乗鞍岳を象徴とした世界に誇れる景観形成
- 5 四季を通じて人が絶えないトレイルづくり
- 6 ワークーションの推進による新たな利用価値の創出
- 7 乗鞍高原の魅力を最大限に表現するプロモーション

基本方針

整備、取組内容

1 ゼロカーボンの取組みの推進と発信、体験の場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物のZEB化 ・ 取組みの実践、発信
2 観光、自然、歴史等のワンストップ総合案内、誘導拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合案内窓口 ・ 自然、歴史の紹介
3 乗鞍高原らしい自然共生型の交通結節点の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮した分散型駐車場 ・ バスや二次交通のターミナル
4 周辺との連携、散策路のネットワーク化などによる人の流れの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機能配置の工夫 ・ 周辺資源等との連携
5 人が楽しむ風景を表に出し、自然の中で過ごす楽しさの共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティビティを楽しむ人が見える外構、建築
6 自然を満喫できる場、雨の日に過ごせる場をつくり滞在時間を延長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗鞍岳の眺望や自然を活かせる外構、デッキ、建物の開口部
7 来訪者と地域住民の多様な交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的スペース、ワークスペースラウンジ、カフェ等の共用空間
8 四季を通じた施設利用、事業継続、適切な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当事者意識の高い事業者による管理運営
9 魅力的な外観、使いやすく温かみを感じられるデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然景観に配慮した外観 ・ ユニバーサルデザイン
10 使い方や将来の変化に柔軟に対応できる施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節による使い方や将来の変化に対応する可変性をもつ建築

計画対象範囲・現状図



施設計画

- ◇交通ターミナル
- ・シャトルバスや路線バスの停車と通行が円滑に行える広いバスターミナル
 - ・建物内外で利用できるチケット販売所
 - ・グリーンスローモビリティや消防車用の屋内車庫
 - ・屋根下で快適に利用できる専用のEV充電所

- ◇自然保護への配慮
- ・自然保護 妻壁にバットボックスを設けコウモリの保護をサポート

- ◇外構
- ・雨に濡れず円滑にアプローチできる屋根付きの車寄せ
 - ・歩車道を分離し安全に利用できる屋根付きの駐輪場
 - ・休憩やレジャー、イベントに利用できるフラットで緑豊かな屋外空間
 - ・敷地内をつなぎ多様な利用ができ、キッチンカーも通行できる広めの園路
 - ・周辺の自然とつながる敷地内外のトレイル
 - ・自然の湿地を生かして高原の植生を体験できる散策空間
 - ・川沿いの静かな林の中で楽しむ屋外体験の場
 - ・外部からも利用できる快適なトイレ・水回り空間
 - ・乗鞍岳や周辺の景観を眺められる展望台
 - ・環境省「光公害対策ガイドライン」に配慮した夜間照明、誘導灯の採用
 - ・夜間には照明が消える自販機ライトの配慮

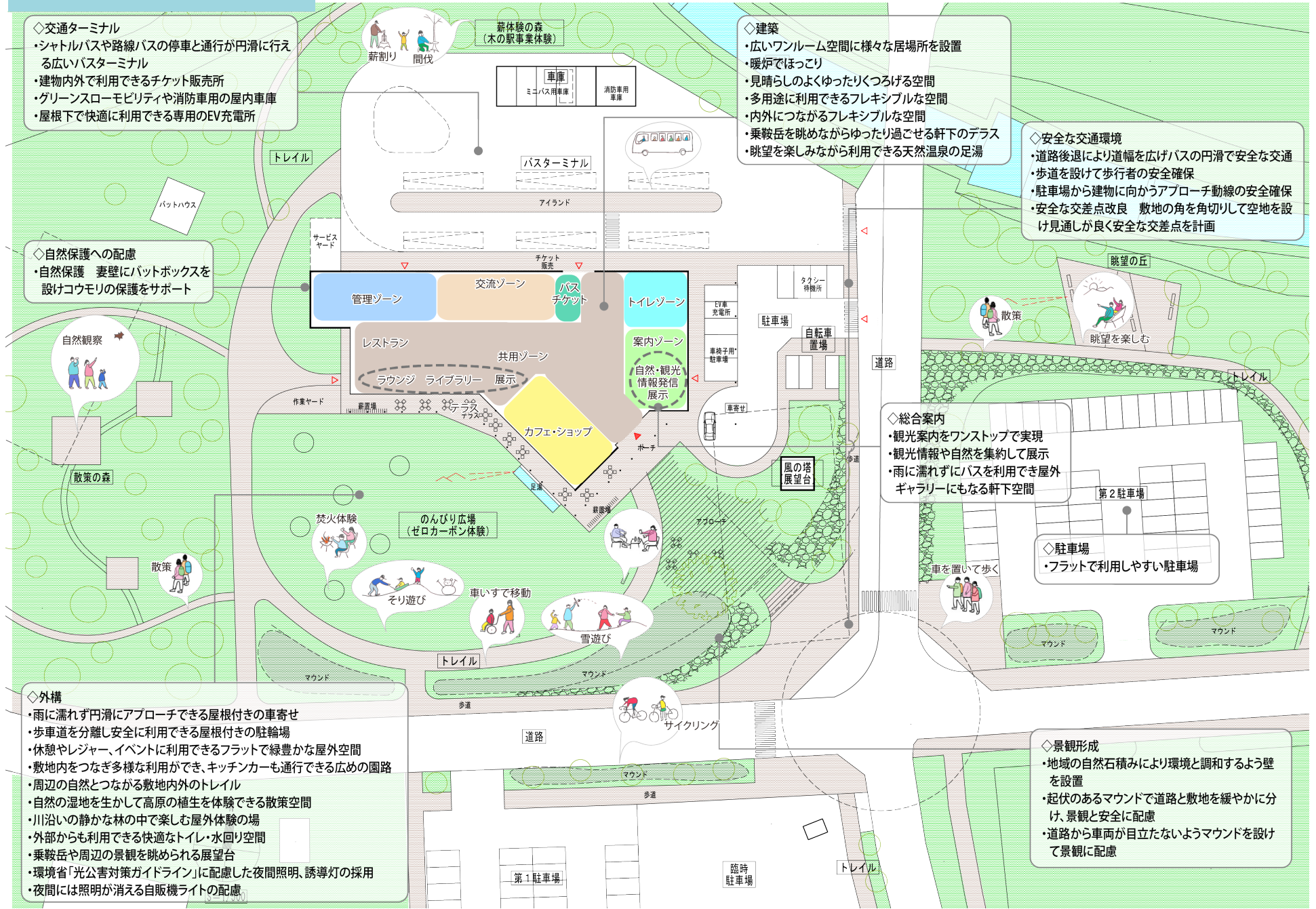
- ◇建築
- ・広いワンルーム空間に様々な居場所を設置
 - ・暖炉でほっこり
 - ・見晴らしのよくゆったりくつろげる空間
 - ・多用途に利用できるフレキシブルな空間
 - ・内外につながるフレキシブルな空間
 - ・乗鞍岳を眺めながらゆったり過ごせる軒下のデラス
 - ・眺望を楽しみながら利用できる天然温泉の足湯

- ◇安全な交通環境
- ・道路後退により道幅を広げバスの円滑で安全な交通
 - ・歩道を設けて歩行者の安全確保
 - ・駐車場から建物に向かうアプローチ動線の安全確保
 - ・安全な交差点改良 敷地の角を角切りして空地を設け見通しが良く安全な交差点を計画

- ◇総合案内
- ・観光案内をワンストップで実現
 - ・観光情報や自然を集約して展示
 - ・雨に濡れずにバスを利用でき屋外ギャラリーにもなる軒下空間

- ◇駐車場
- ・フラットで利用しやすい駐車場

- ◇景観形成
- ・地域の自然石積みにより環境と調和するよう壁を設置
 - ・起伏のあるマウンドで道路と敷地を緩やかに分け、景観と安全に配慮
 - ・道路から車両が目立たないようにマウンドを設けて景観に配慮



外観・内部空間のイメージ

東エントランス側上空からの俯瞰イメージ



十字路側からのアプローチイメージ



暖炉のあるエントランスホールから外部が見える開放的なロビー空間のイメージ



概算費用

・ 建築工事	約820,000千円
・ 外構工事	約347,000千円
・ 除却工事	約100,000千円
合計	約1,267,000千円

スケジュール

- ・ 令和9年度中、供用開始予定
- なお、PFI導入も検討しています。